

女性鍼灸師フォーラム 第27回学習会

ジストニアの鍼治療テーマに開催

鍼治療への期待大患者のため全国ネットワークを

女性鍼灸師フォーラムの

第27回学習会が7月4日、

最も患者数の多い頸部ジ

川崎市医師会館(神奈川県川崎市)で、鈴木俊明氏(関西医療大学保健医療学部教授)を講師に、『ジストニアの鍼治療』をテーマに開催された(神奈川県鍼灸師会と合同開催)。

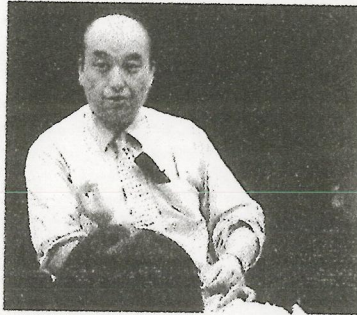
ジストニアとは筋緊張の異常によって様々な不随意運動や肢位、姿勢の異常が生じる症状の総称。大脳基底核の働きの異常、心的ストレス、過度の労作、向精神薬の影響などにより起こると考えられている。

最も患者数の多い頸部ジストニアの鍼治療では、動作分析などの臨床的評価と筋電図評価から、一次的障害(本疾患による障害)と二次的障害(廃用症候群からくる皮膚・筋短縮による障害)を鑑別し、二次的障害を優先して治療する。二次的障害への鍼治療は、障害部位の皮膚や筋の短縮を毛鍼で伸張させる。一次的障害への鍼治療は、筋収縮過剰あるいは不全がみられる罹患筋を通る経絡の遠隔

部経穴(循経取穴)に浅く置鍼、罹患筋を抑制・促進させる。また、罹患部位のみではなく全体的な治療を実施するための動作分析が重要となる。鈴木氏は頸部ジストニア患者48名に対し、週1回の治療頻度で、初診時と治療10回終了時の臨床的所見・筋電図所見の変化を検討した治療成績では、臨床的評価では35名(約73%)で改善が、筋電図評価では48名全員で改善がみられたと報告した。

鈴木氏は他にも、ピアノストやクラリネット奏者などの症例を挙げ、集毛鍼、頭の上肢区を用いる上肢ジストニアへの鍼治療についても解説。さらに、鈴木氏が現在取り組んでいる「ダイナミック鍼治療」を紹介した。ダイナミック鍼治療とは、動作改善という同じ最終目標を持つ鍼治療と運動療法を併用する治療法。全身の筋緊張

異常・アライメント異常の改善を目的とする動的な運動療法と鍼治療を同時に行うもので、治療が困難といわれる後屈タイプ頸部ジストニア患者での治療効果



鈴木俊明氏(関西医療大学保健医療学部教授)が講演中。

堀口 隆

を支え、座位を行うための文の肩甲骨が書いて記して

何層にも重なっています。を支配し、自を持っていき、鈍痛などの循環障害の程度や範囲は一過性の症です。不愉快吸が静かに深

への有効例が心臓や腎臓にみえていまし、ベッドか

夜と葬儀で郷ぐような呼吸へ。治療の途中心まきました。翌しくなると

状の咳を鎮め肋骨骨折の痛みを整理して、

気持ちいいとが養生のはじ

視力障害あはき師に人気のツアー

五感で楽しむ船旅 新生にっぽん丸で行くニューイヤークルーズ (グアム&サイパン)

視力障害を持つあはき師に人気のツアー『五感で楽しむ船旅』シリーズ。今回は、今年3月に全室リニューアルを終え生まれ変わった豪華客船「にっぽん丸」での最初のニューイヤークルーズ。

年の瀬の寒い日本を抜け出し、常夏のグアム島、サイパン島を巡る。航海中は船長主催のパーティー、クラシックコンサート、大晦日の年越しカウントダウン、餅つき大会、体操やダンス教室など、船内イベントが盛りだくさん。グアム島、サイパン島では船から市街地までバスで移動し、オプションツアーで島内観光も楽しめる。

朝日や夕日を眺めながら大浴場で疲れを癒すもよし、バーやカジノで非日常を味わうもよし。万一の船酔い・体調不良には常駐の医師が対応する。年越しソバや特製おせち料理など、食事も自慢のにっぽん丸で一味違う新年が迎えられる。

日程は平成22年12月27日から平成23年1月4日まで9日間。旅行代金は1人34万2000円から。申込締切は8月31日。詳しくは(株)チームコム、電話03-5775-5212、またはホームページ(www.teamcom.co.jp/)で。

例が報告された。ジストニア治療では薬物投与、ボツリヌス注射、手術などが行われているが、治療効果の限界、専門医が少ないなどの問題がある。鈴木氏の外来には鍼治療を求める患者が全国から訪れるが、鍼灸師のマンパワー不足と患者の経済的負担が大きいという課題がある。このため鈴木氏は、『ジストニアの鍼治療を学んだ鍼灸師が全国に広がれば、初診後の患者さんを各地の先生たちに紹介して治療を引き受けてもらえる。患者さんのために、ぜひ、ジストニアの鍼治療を学んでいただきたい』と呼び掛けた。

全10回コース

～平成23年7月 ※1月は休講 10～13:00

最新刊

オリジナルノートの作り方



柔道整復師国家試験 傾向と対策2011

編集 柔道整復師教育研究会